

ISSN 0919-4657

KONC

Bulletin of Kansai Organization for Nature Conservation

関西
自然保護機構
会誌

33巻2号(通算62号)

追悼記事 生態学者吉良竜夫先生を偲ぶ



2011年12月
関西自然保護機構

表 紙 の 言 葉

モンゴル国最大の淡水湖フブスグル湖と それを取り囲むシベリアカラマツ林の紅葉

写真・文 浜端 悦治

モンゴルの秋は早い。ロシア国境に近いフブスグル県では8月末には雪が舞うこともある。フブスグル湖の周りはシベリアカラマツの純林の明るいタイガに囲まれており、草原の国のイメージにはほど遠い。吉良竜夫先生は学生時代の大興安嶺の探検と比較しながら、この地域を最後のフィールド・ワークの対象に決められ、1998年から10回前後も通い詰められた。特に森林限界の問題や、この湖を取り囲む地域ではシラカバなどをも欠いたシベリアカラマツの純林となっている理由などを解明したいと考えておられた。またこうした研究面のみならず、1999年からはNGOの「びわ湖・フブスグル湖交流協会」の会長も務められ、研究成果の広報や医療物資の支援などの幅広い活動を通じ両国の交流にも尽くされた。

写真：2006年9月24日撮影

関西自然保護機構（KONC：Kansai Organization for Nature Conservation）

KONCは自然環境保護にかかわる人たちや関心を持つ人たちを幅広く組織して、自然環境保全に関する各分野での研究を結集し、その研究の進歩と自然環境の保護・保全のために努力することをめざして、1978年に創立されました。

KONCはその活動の成果と、会員個々人の学識と経験の蓄積にもとづいて、近畿地方に於ける広い意味での自然保護の諸問題に対する有力なアドバイザー・ボディ（助言勧告機関）として、社会の要請にこたえることを企画しています。

現在、次のような活動をしています。

1. 基礎研究の実施
2. シンポジウム・セミナー・講演会などの開催
3. 現地見学会の開催
4. 研究助成金の交付
5. 会誌・連絡紙の発行
6. 自然保護に関する基礎資料の収集と配付
7. 自然保護および自然環境保全に関する提言と助言
8. 国内外の諸団体との連絡・協力

会の活動は、個人会員・維持会員の会費により、まかなわれています。